

くまもと物語 11

花



美しい花を咲かせるのは、それを求める人の心

四季折々、さまざまな花が私たちの目を楽しませてくれます。古くから、人々の暮らしに彩りを添えてきた花。今回は、そんな花の美しさの秘密を探ります。

●熊本の風土が開かせた肥後六花

熊本の花といえば、肥後六花。どれも大輪で一重咲き、立派な花芯を持つという共通点を今も守り続けています。厳密な栽培法（流儀づくり）は、武士の精神修養の一つとも考えられ、肥後人特有のモッコス気質も手伝つてか、肥後六花は「わが道を行く」改良を重ねられ、独特な発達を遂げました。

江戸時代末期には、肥後藩士や豪農、庶民に至るまで、花を愛する仲間たちが花連合会（花連）を結成。これらの花を愛でたと言います。これが熊本の花き園芸の原点と言われています。

●各地で誕生する新しい花

そして今、海外から導入されたものを含め、県内では、さまざまな種類の

花の栽培がされています。生産性を高める一方で、品種改良も積極的に行われていて、例えば三角町の戸馳島では、「五蘭塾」という生産グループが独自に交配を行い、「プリティレディミスミ」というオリジナルのランを誕生させています。また、最近、県は、花びらのねじれが少なく姿の美しい白菊「秀芳の力」の優良系統を選抜。県産ブランドとして、期待が寄せられています。

●奇跡は希望に

新しい花を誕生させる方法は、交配や突然変異の選抜、遺伝子操作などいろいろあります。どの方法も、これまでとはどこか違う花が生まれてくるとい



う、人知を超えた自然の神秘に支えられています。しかし、可能性は、可能性は何万本に一本の割合。せつかくの誕生を見逃す可能性もあります。数字で見れば、まさに奇跡。けれども、育てる人が、より美しい花を求める気持ちをもつて見れば、わずかな変異も見えてくると言えます。

県内で育てられている花の数を考え併せれば、奇跡は、希望のもてる数値に変わります。



愛情と情熱をもって、花の美しさを守り、新しい花の誕生を夢見る人々。そんな人々がいるからこそ、昔も今も私たちは花の美しさを楽しむことができるのです。

わがま ち 自 慢

白い砂浜と青い海とえびす様があなたを待っています 【倉岳町 えびすビーチ】



紹介者 吉森 啓司さん



昨年オープンした「えびすビーチ」は、不知火海の波静かな内海に作られた人工ビーチで、安心して泳げる海水浴場です。ビーチの総延長は267m。背後にはテント付きの約120mの木製デッキが備えられていて、木の温もりと白い砂浜がやさしく広がります。駐車場からビーチに至る110mの

「鯛夢トンネル」は、風が吹き抜け、とても爽やかです。また、東側には遊歩道と展望所があり、えびす様と七福神が皆さんを見守ります。今年はビーチを囲むネットも設置され、より安心・快適に楽しんでいただけるビーチになりました。皆さんのご利用をお待ちしています。



●お問い合わせ先/倉岳町役場企画開発課 ☎0969-64-3111(内線312)

7800株のバラを一年中楽しめる 【阿蘇アグリスクエア はな阿蘇美】



紹介者 池田 節子さん



今年4月、阿蘇町に「阿蘇アグリスクエア はな阿蘇美」がオープンしました。ここでは、世界中から厳選された550品種のバラを年間を通じ鑑賞できるドーム型温室や、イングリッシュ・ローズをはじめ宿根草やハーブ、コニファーなどの花々が楽しめます。本場イギリスの若手ガーデナーによるガーデニングセミナーや園芸資材等の販売所があるのも魅力です。また、この施設ではガーデンウェディングができ、若いカップルの話題になっています。

中央のアグリセンターには、豆腐づくり体験や地元食材を利用した英国風のレストラン、英国の「ザ・ナショナルトラストショップ」、農産加工品、工芸品等の展示販売を行っています。皆さんぜひ一度遊びに来てください。



●お問い合わせ先/阿蘇アグリスクエア ☎0967-23-6262

県広聴制度のご案内

知事への直行使

県の出先機関、市町村、公立病院、普通郵便局、特定郵便局、銀行、農協などに専用の封筒と便せんを置いて提出された直行使は全て知事が目を通します。県政に対する自由な提案、ご意見をお待ちしています。

県政モニター

県民の中から二百名の方にモニターになっていただき、継続的に県政に対するご意見、ご提案をお伺いしています。

県民相談

県政に関するさまざまな相談をお受けしています。受付時間 月曜～金曜、九時～二時、一三時～一六時 ☎096-383-1111(内線3142・3143)

動く県政教室(県政バス)

県の施設などをバスで視察していただき、アンケートに答えたいだくもです。七月～八月に県庁及び各県事務所出発の全十四コースを実施します。詳しくは、五月末の新聞に掲載する「熊本県からのお知らせ」、県事務所、市町村に配布のチラシをご覧ください。皆さんの参加をお待ちしています。

県広報のご案内

「県からのたより」●年六回発行(偶数月)

「彩り」(熊本の豊かさを伝えます。A4判、28ページ) ●年四回発行(四月・七月・十月・一月)

●愛読者募集中です。送料として千八百円(四回分の郵便手元を同封のうえ、左記あて先へお申し込みください。)

「点字広報誌」

「県からのたより」「彩り」は、視覚に障害のある方のためのもので、録音版があります。詳しくは、熊本県点字図書館 ☎096-383-6333(までお尋ねください)。

●「県からのたより」●年六回発行(偶数月) ●毎月最終日曜日(再放送あり) ●TKU「くまもと探検隊」 ●毎週土曜日(二時五十分～三時) ●KKT「クロスアップー熊本」 ●年間九本(三〇分八本・六〇分一本) ●KAB「くまもとウィークリー」 ●毎週日曜日(一七時三十分～二〇分)

●RKK「ふれあいくまもと」 ●毎週月曜日(一〇時三十分～一〇時四十分) ●FMK「県庁ダイアリー」 ●毎週月曜日(金曜日)七時三十分～七時三十分 ●CITY FM「LOOK IN くまもと」 ●毎週木曜日(一八時〇〇分～四〇分)

ラジオ テレビ 広報誌

ホームページ

県政に関する情報は、インターネットでも提供しています。 http://www.kings.co.jp/kumamoto-pref/ 「熊本県庁ホームページ」に関するお問い合わせは、熊本県企画調整課まで。

読者の方々のご意見をお待ちしています。 あて先 〒862-8570 熊本県広報課「県からのたより」係 ※県庁の住所は不要です。 ☎096-385-2096 FAX096-386-2040